

2021年1月8日

## バワト社、バラスト装置の販売強化 独自方式で参入、「低OPEXに強み」とハマーCEO



排熱を利用した低温殺菌方式によるバラスト水処理装置を展開するデンマークのバラスト水処理装置メーカー、バワト（BAWAT）のマーカス・ハマーCEOが本紙書面インタビューに応じた。フィルターや薬剤、紫外線などの従来方式と異なる独自技術で市場参入を果たしたばかりだが、既に9隻への設置を契約済み。一般的な処理装置がフィルターなど2段階処理を必要とするのに対し、一段階で処理できるなど、設置の容易さや低オペレーションコスト（OPEX）でメリットが大きいと語る。今年から22年にかけてバラスト装置のレトロフィット（改造工事）がピークに向かう中、販売拡大を図る考えだ。

ハマーCEOの発言要旨は以下のとおり。

— 低温殺菌という独自のバラスト水処理手法が誕生したきっかけは。

「アイデアが生まれたのは2006年。顧客との会議のブレイクアウト中に、ベテランエンジニアが『加熱すればよいのではないか』とコメントしたことが当社の創業者の頭に残り、低温殺菌手法の構想が生まれた。その後、この新しいシステムを実現する会社として2011年にバワトが設立された」

— 低温殺菌技術のメリット、装置の特徴と強みは。

「低温殺菌方式は処理効率が非常に高いので、当社装置は未処理のバラスト水を一度通過させる

だけで処理が完了する。フィルターも必要ない。一段階だけで処理できるので、装置サイズはバラストポンプの容量に合わせる必要がなく、バラスト処理の必要量に合わせたサイズを選択できる。低温殺菌に必要なエネルギーは船舶の排熱を利用するので運用コストも安い。装置の標準構成がプレート式熱交換器2基とポンプ、センサー、パイプという非常にシンプルな構造で、ほぼすべて標準的な船舶用部品をベースに設計しているので船員の扱いも容易。これらによりOPEXに競争力がある」

— 使用するのに適した船種や船型は。

「航海中にバラスト水処理できるトレードの船であれば、あらゆる船種船型に適用できる。例えばコンテナ船は主機出力が大きくバラスト水の交換量が比較的少ないため、非常に適している。800~1200TEU型コンテナ船で、毎時300~350立方メートルのバラストポンプ容量を持つ船であれば、毎時100立方メートル能力の当社BWT Sで十分対応できる。その他実績船としては、貨物船や重量物船もある。今後RORO船や客船なども検討していきたい。オフショア支援船(OSV)のように、長期間同じ場所にとどまることからバラスト水処理装置を年数回しか使用しない船に対しては、コンテナ式の処理装置ソリューションも提供している」

— 装置の納入実績と今後の販売目標は。

「2019年にIMO（国際海事機関）、今年3月に米国沿岸警備隊(USCG)からそれぞれ型式承認を取得した。現在、9隻の船舶への設置を契約済みだ。来年、再来年に向けて、レトロフィットと新造の両方で大幅な成長を予測している。特に新造船市場は、大きな可能性を秘めている」

「今のバラスト水交換基準(D1規制)が2024年から認められなくなることから、多くの港湾がどう対応するか検討し始めている。港湾に陸上のバラスト水処理施設があれば、船舶を支援できるうえ、港の水域に外来種が持ち込まれないようにできる。その点、当社が提供できるソリューションはユニークで、世界中の港のニーズに対応している」

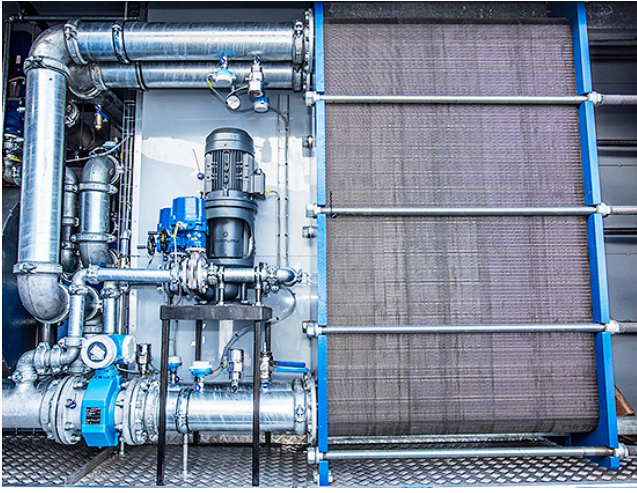
— アフターサービスとエンジニアリング支援の体制は。

「当社は世界中にサービスエージェントのネットワークを持っている。部品は当社からだけでなく、他のベンダーからも入手できる。さらに装置には、内蔵のGSMモデムを介して、デンマークのサービスエンジニアからリモートでトラブルシューティングを行うオプションもある」

— 日本市場に対しての期待は。

「当社は後発だが、IMOやUSCGの型式承認に加え、独自の製品ポートフォリオなど、万端の準備で市場に参入した。当社の製品は、設置の容易さ、低OPEX、環境への配慮などといった点で、これまで他のベンダーが対応していなかった市場のニーズに対応している。日本は、質の高い船舶保有と運用で知られている。今後も船主や造船所が、よりコスト効率の高い船を建造し、運航するためのサポートができることを願っている」

日本の販売代理店は、川戸マリンパートナーズ(川戸忍社長)が務める。電話:090-3104-1272、Eメール:shinobu@kawatamarine.jp。



---

海事プレスに掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

© Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.